

第20回核データ・グループ会合議事録

日時 昭和43年9月5日 P. M. 1.30~5.00

場所 原研東海研, 核データ研

出席者 八谷, 中島(竜), 中村, 中島(豊), 更田, 浅見, 岡本, 菊池(康)
村田, 神田, 河原崎, 西村, 五十嵐

配布資料 第19回核データ・グループ会合議事録

STEVE-1 改造計画について(案)

議事

1. 前回議事録確認

- U^{238} 関係はデータシートの整理と非弾性散乱とを分離する。非弾性散乱関係のメンバーは
五十嵐, 中村, 村田, 菊池(康)
- Carbon関係は
西村, 田中, 更田, 五十嵐
- 鹿取氏は未定
- 文献分担については
Z. Phys を浅見氏, Nucl. Phys. No. 1 は中島(竜)氏, Phys. Rev. の偶数番号は中村氏

2. 運営委員会報告(中島(竜))

- 核データ・グループの計画については了承された。
- 来年度予算は局の査定が1300万円であった。
- 運営委で勉強会が行なわれ, F. P. の話があった。核データ・グループにも順番が回ってくる。

- 炉定数グループから重い核の評価についての協力の申し込みがある予定。
- コード利用規定、数値データの取扱い規定の案が出たが問題が多く運営委幹事会で検討する。
- 西村氏が運営委幹事になった。
- 8月末に予定していた研究会が延期になった^ら、動燃との話し合いがついて、10月以降なら可能にな^る。まじらう。

3. 発表予定の論文について

- RACY : コード・マニュアルを公開JAERI-memoに投稿予定。
数人からコメントをもらった。

計算結果を秋の原子力学会で発表したい。

計算についての報告書は別に出す予定。

論文発表はグループとしても促進するように援助したい。(西村)

- ELIESE-2 のマニュアルはJAERI-reportとして印刷に回した。
イスブラのコード・ライブラリーに提出する。
- STAF : マニュアルだけでなく、パラメータの問題等もまとめて発表したい。

計算は原研の計算機では不可能。

計算費としては10万位必要。

- STEVE : マニュアルの方は進んでいない。
頁数が多いので圧縮するのに苦労している。
グループとしては早く出すようにしたい。

- Atta-Harvey の modification コード :
公開JAERI-memoにする。
読んでもらう人をどうするか未定。
- COMFORD : Washington Conf に出した。

原子力学会で話してはどうかとの意見があり、口頭発表をする予定。

作業グループとしては担当者間で会合している。

7044で行なうには問題がある。

評価のための方法を話し合った。

- Carbon 関係 : CCDN ニュース・レターに投稿予定。計算は90%方完了した。

グループには次回位に報告出来る予定。

- (n, 2n) : Washington Conf に出した。

まとめて Nuclear Data に出す予定。原稿は出来ていない。

- Pb の σ_T : グループとは無関係にやつ^{T₂}~~て~~。

CCDN ニュース・レターに出す予定。(中島(竜))

4. 論文発表上の手続き

多数の意見と議論ができたが、

「論文のコピーを3人(順番制)に見てもらい積極的にコメントをもらう。グループ責任者が面倒を見る」

ことに決まった。

学会発表等はグループ責任者に申し出る。

5. その他

- データ・シートの収集は特定の時期を決めて、その時点までやってみて、その時点で反省と方法を検討する。(中村)

- (n, 2n) 関係 : 以後は MeV 中性子断面積の評価と呼ぶ。計画は

$S^{32}(n, p)$, $Mg(n, 2n)$, $Ni(n, x)$

を予定。

計算は八谷氏が担当。

。STEVE 改造計画(八谷) : 資料により説明。

IBM360で行なう。

6. 次回

日時, 場所未定。

議長 大久保

書記 井出野